

資料3

安渡のコミュニティ戦略について

これまでの協議会では、復興事業や基盤整備の他に、以下のような課題が挙げられた。

- ①子育て環境の充実
- ②バス停を核としたみんなが集まる場所づくり
- ③買い物等の生活サービスの充実
- ④地域の公園・広場の管理
- ⑤防災・避難の活動
- ⑥散歩ルートなどを活用した健康づくり
- ⑦昔からある祭り・行事等の復活など



安渡の暮らしや地域活動の計画の作成（提案）

地区別にコミュニティ戦略を作る(イメージ)

地域の特徴

自然・地理

清流・砂浜
動植物・昆虫

歴史・文化・風土

金山・郷土料理
伝統芸能
お祭り・運動会

産業

漁師
水産加工
農林

人・団体

地域の有名人
得意技
NPO

場

集会所
学校
産直

固有の課題



コミュニティ戦略

他の視点からも課題を出し合う

健康づくり
介護予防

自治会活動

環境・美化

子育て支援

課題を解決しながら
人のつながり、地域の力を維持発展し
暮らしを支える

防災

高齢者支援
買い物支援

人口減少
対策

観光
地域ビジネス

コミュニティ戦略策定のねらい

- ◆「議論しても、どうせ実現しない・・・」
 - ◆これまでは、将来の望ましい安渡の姿や安渡住民の生活像を描くだけで終わっていた。
 - ◆コミュニティ戦略では、何を、どうしたら、そのような状態に至ることができるかの、「道筋を提案する」ことがねらい。
- ◆次世代につなぐ安渡
 - ◆10年後、20年後、安渡はどうあってほしいか、何を残し引き継ぎたいか。住民のみなさんが、安渡に必要な方針、事業企画を検討することが大切です。
 - ◆自分達が、次世代が、住み続けたい安渡に、戻ってきたくなる安渡にするには、今から何をすればよいのでしょうか？
- ◆具体的な取り組みを進めながら、今年度いっぱいかけて考えて行きます。

コミュニティ戦略とは

(従来)課題や要望のリスト＝計画？

- ①子育て環境の充実
- ②バス停を核としたみんなが集まる場所づくり
- ③買い物等の生活サービスの充実
- ④地域の公園・広場の管理
- ⑤防災・避難の活動
- ⑥散歩ルートなどを活用した健康づくり
- ⑦昔からある祭り・行事等の復活など

(戦略)実現のための道筋をつける

- 若い世代が暮らしたくなる安渡
 - － 仕事環境の充実(里山・海観光化、水産加工場のイメージ向上)
 - － ④若者が使いたくなる地域の公園イベントの検討
 - － ⑤安心して暮らせる住宅と地域防災訓練
 - － ①学童保育などの子育て充実
- シニアが活躍できる安渡
 - － ②バス停を核としたみんなが集まる場所づくり
 - － ③シニアが担う生活支援
 - － ①シニアの経験を活かした子育て応援団の結成
 - － ⑦祭り・伝統行事の復活・継承
 - － ④健康づくりができる公園広場

同じ内容(課題や要望)であっても、ストーリーによっては実現度や効果が異なる

安渡コミュニティ戦略の例

- これまでの協議の結果の概要 【い・しょく・じゅう】
 - 安渡地区コミュニティアセスメントシート参照
- これからの安渡での暮らしのイメージ
- 「安渡」での暮らしを実現する戦略案 【7つの柱】
- 重点プロジェクトのアイディア 【アクション】
 - 10年後、20年後、次世代が安心して、活気をもって暮らせるには、まず何をすべきか、何がしたいのか～

本日の検討のポイント

- ◆ 各自の夢、希望や期待を、コミュニティ戦略に盛り込む
- ◆ 次世代に残したいまちを目指すにはどうしたらよいか
- ◆ (特に若い世代が) 取り組みたい・関わりたいと思える活動やアイディア

20分

グループ協議のテーマ

1. コミュニティ戦略について
(イメージを材料に話し合ってみる)

- ①安渡の将来像
- ②課題や活用できる資源
- ③戦略(方向性)

具体的なコミュニティ活動などを通して、1年間かけて、作成していきます。本日は、昨年度までの意見、地域資源の確認と、戦略のアイデアを出し合います。

震災前の安渡

- 安渡小を核とした多世代交流ができていた。
- 防災訓練や地域学習に力を入れていた。
- 水産加工場での勤務は人気がなかった
- ジョイスや河合商店などがあり、商店街もあったが、縮小傾向にあった。
- 公民館、保育園、公園、郵便局は県道沿いに比較的まとまって、立地していた。
- 伝統芸能団体の活動や公民館行事などの文化活動は盛んだった。

震災後も残る・新たに発掘した安渡の資源

- 住居エリア：公民館・ホール/すりきず公園/子ども夢ハウス/保育所
- 旧県道沿い：湧き水公園/海が見える高台/海に最も近い広場/神社参道/バス停/遊歩道/
- 産業エリア：防潮堤/自然環境：海（大槌湾）/
- 安渡町内会再生、消防団、婦人会、etc.
- 伝統芸能団体、フォークダンス同好会、あんど娘、闘球盤・バックの会、etc.
- 商業・事業者：水産加工会社、漁協、鮮魚店、etc.

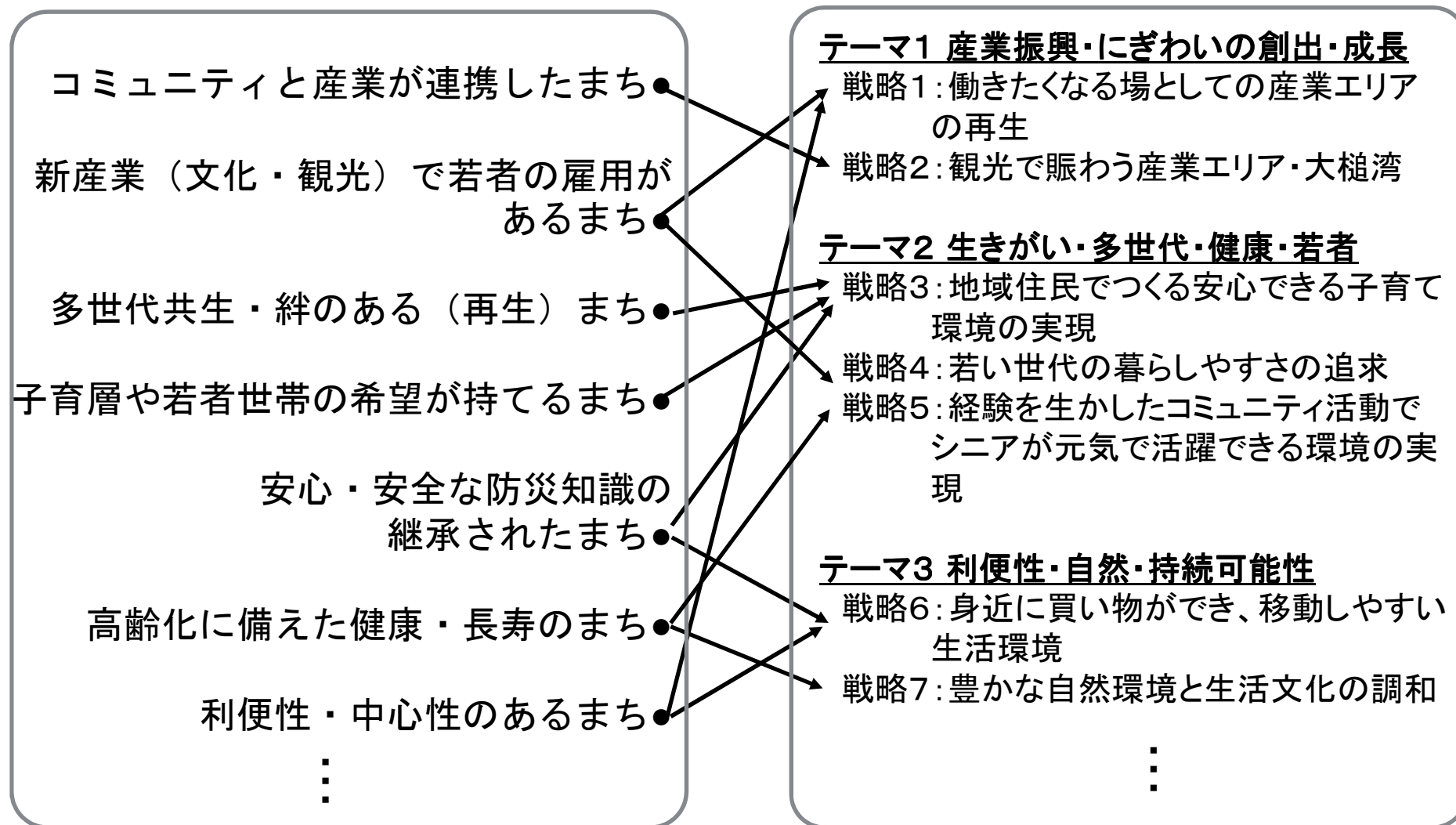
※昨年度の協議会の議事録から抜粋し作成（別紙．コミュニティアセスメントシート参照）

安渡での暮らしを実現するコミュニティ戦略の概要

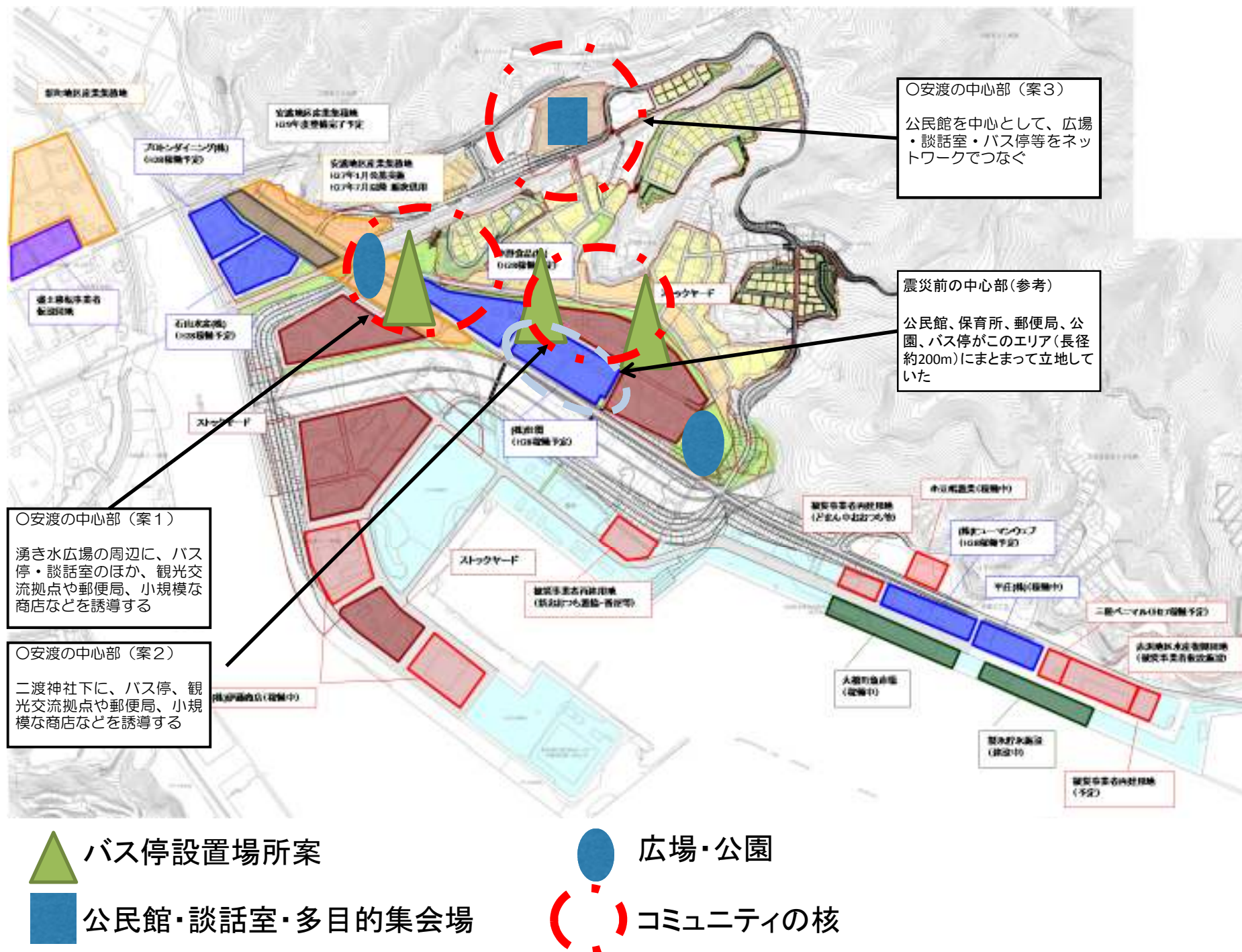
10年後、20年後の暮らしのイメージ



実現に向けた大きな方向性



※昨年度の協議会の議事録から抜粋し作成（別紙. コミュニティアセスメントシート参照）



45分

グループ協議のテーマ

2. 重点プロジェクトのアイデア

①20年後の暮らしに向けて、何をするのか、何がしたいのか。戦略にそってアイデア出し。(アイデア出し20分、報告・共有10分)

②行政・専門家から、既存の事業や実現のためのアドバイスをもらう。(15分)

※「地域福祉計画」、「公共交通計画」、「景観ガイドライン」など、行政側からの情報提供は戦略と紐づけて報告

※昨年度は、専門家による「講評」だったが、今年度は、検討のアドバイスとする。

重点プロジェクトのアイディア【アクション】

～20年後の暮らしに向けて、まず何をするのか、何がしたいのか～

20年後の暮らしに向けた戦略案

テーマ1：産業振興・にぎわいの創出・成長

戦略1：働きたくなる場としての産業エリアの再生

戦略2：観光で賑わう産業エリア・大槌湾

テーマ2：生きがい・多世代・健康・若者

戦略3：地域住民でつくる安心できる子育て環境の実現

戦略4：若い世代の暮らしやすさの追求

戦略5：経験を生かしたコミュニティ活動でシニアが元気で活躍できる環境の実現

テーマ3：利便性・自然・持続可能性

戦略6：身近に買い物ができ、移動しやすい生活環境

戦略7：豊かな自然環境と生活文化の調和

20年後暮らしに向けて何をする？

協議会・住民からのアイデア

- ・安渡おもてなし隊の結成
- ・津波の恐れのある地域（南海トラフなど）からの観光を兼ねた防災研修・視察の受け入れ

行政・専門家からのアドバイス・提案

- ・水産加工業のイメージアップ
- ・コミュニティ活動（伝統芸能や語り部）の観光ビジネス化

協議会・住民からのアイデア

- ・子ども会の設立と夏休みのラジオ体操の開始
- ・日曜大工隊の結成、子供と一緒に遊び場づくり
- ・新老人クラブの設立と屋号地図づくり／闘球盤遊び、陣屋など、魅力的な昔の文化や遊びの発掘

行政・専門家からのアドバイス・提案

- ・安渡保護者会の立上げ、子育てネットワーク構築
 - ・介護予防・生活支援と一体となったシニアコミュニティビジネス活動の促進
- ※「地域福祉計画」「公共交通計画」の策定予定。

協議会・住民からのアイデア

- ・バス停を核とした買物・交流小拠点の形成
- ・「景観ガイドライン」の実行

行政・専門家からのアドバイス・提案

- ・商店・移動販売、支援者等が連携した買物支援
- ・虫取り、魚釣り、山菜採りができる里山・里川再生

テーマ1のイメージ 産業振興・にぎわいの創出・成長

水産加工業の イメージアップ (働く場づくり)



大槌湾観光 (安渡おもてなし隊)



テーマ2のイメージ 生きがい・多世代・健康・若者

地域で子育て



若い世代の暮らし シニアの活躍の場



テーマ3のイメージ 利便性・自然・持続可能性

買物環境づくり



自然と生活環境



30分

グループ協議のテーマ

3. コミュニティが担うアクション

- ①戦略の実現にむけて、コミュニティ活動として、いまからでも始められそうなアイデアを考える。
- ②行政・専門家も加わり、アイデアの実現方法について検討する。

協議の結果について

本日の協議会の意見を踏まえ、
安渡地区コミュニティ戦略の案を整理し、
次回の協議会で提示します。

スケジュールの案

7月	7月～	10月	11月	2月	4月
第1回 協議会 復興事業の 進捗状況の 説明 戦略について の協議① 今年の夏の 活動	戦略の実現 にむけたコ ミュニティ活 動の実践 (計画、予算 検討など)	第2回 協議会 復興事業の 進捗状況の 説明 戦略案につ いて協議② 重点プロジェ クトについて の協議	第3回 協議会 復興事業に ついての詳細 な説明	第4回 協議会 復興事業の 進捗状況の 説明 戦略のとりま とめ	戦略に ついての 報告会